

ASTRA1.0 (自動ステアリング・スクリッド伸縮装置) 主要仕様

ASTRA 1.0		
基本仕様*	対応舗装速度	1.0~7.0 m/min
	対応舗装半径	R 15m以上(車両中心)
	対応舗装幅	2.9~6.0 m
	検出対象高さ	3 cm 以上
ステレオカメラ	外形	217.8(W) x 247(D) x 154(H) mm
	重量	4.3 kg
	水平視野角	120°
	垂直視野角	90°
カメラモニタ(パネルPC)	基線長	136 mm
	外形	240(W) x 59(D) x 180(H) mm
	重量	1.6 kg
	モニタ部	タッチスクリーン 8インチ カラーTFT
	CPU性能	2M Cache, 1.91 GHz
	OS	Windows 10 IoT 2016
	メモリ	4 GB DDR3L
ストレージ	32 GB	

ASTRAとは

ASTRA[®]

**Advanced
SCM*
Technology for
Reduction and
Autonomous future**

*SCM:SUMITOMO CONSTRUCTION MACHINERY

※勾配や施工条件により異なります

自動ステアリング・スクリッド伸縮装置

ASTRA[®] **1.0**

HA60W-10用

ASTRA1.0 対応機のご紹介

Sumitomo Asphalt Paver
J-PAVER
HA60W-10



WORLD FIRST Infinitely variable triple screed

世界基準の高剛性を誇る3連伸縮スクリッド

HA60W J-paverは、3連伸縮式で2.3mから6mまで無段階に伸縮可能。施工中の舗装幅変更がスムーズに行えることに加え、大径ガイドパイプを採用した高剛性構造により、高精度な舗装品質と安心の作業を実現しています。写真はオプション装着車

2.3m~6.0m幅に対応
3連伸縮で6m幅までのワンタッチ伸縮を実現!!

- 注意**
- 本機能はオペレータの作業負担を軽減する事を目的としたステアリング操作とスクリッド伸縮操作を補助する物であり、アスファルトフィニッシャを自動で運転させるものではありません。
 - 本機能の検出性能には限界があり、条件を満たさない時や、路面状況、気象条件等によっては本機能が作動しない場合や予期せぬ動作をする可能性があります。
 - 本機能を使用する際にも、オペレータおよび作業者は常に車両およびスクリッドの動作に注意を払い、安全配慮を行う責任があります。
 - 進路上の障害物や危険な状況を判断して回避する機能はありません。
 - 本機能に頼って運転すると重大(重症)事故につながる可能性があります。
 - 緊急時、および危険を感じた場合には、すぐに車両の動作を止めてください。(非常停止スイッチON、エンジンキーOFF、制御スイッチOFF)
 - 道路走行の場合には「大型特殊自動車」の免許が必要です。
 - 本機のご使用にあたっては取扱説明書を必ずお読みください。

●カタログに掲載した内容は、予告なく変更することがあります。●掲載写真は販売仕様と一部異なる場合があります。●掲載写真はカタログ用にポーズをつけて撮影したものです。機械を離れるときは、必ず作業装置を接地させるなど、安全に心がけてください。●掲載写真の色は印刷の関係上、実物と異なる場合があります。

お問い合わせは…

住友建機株式会社

住友建機販売株式会社

〒141-6025 東京都品川区大崎2-1-1(ThinkPark Tower) TEL.03-6737-2610
北海道統括部 TEL.050-9001-8626 東北統括部 TEL.050-9001-8630
関東甲信越統括部 TEL.050-9001-9709 中部統括部 TEL.050-9001-8639
関西統括部 TEL.050-9000-3501 中国統括部 TEL.050-9001-8600
九州統括部 TEL.050-9001-8647

●オペレータの養成・資格取得のご相談は 千葉教習センター TEL.043-420-1549
愛知教習センター TEL.0566-35-1311 大阪教習センター TEL.06-6476-4555

<https://www.sumitomokenki.co.jp>



自動化、開通。

舗装工事の自動化が、ここから始まる。

ASTRA[®] 1.0

舗装工事の自動化を、もっと手軽に、もっと簡単に。

労働人口の減少や働き方の変化により、避けることのできない舗装工事の生産性向上。

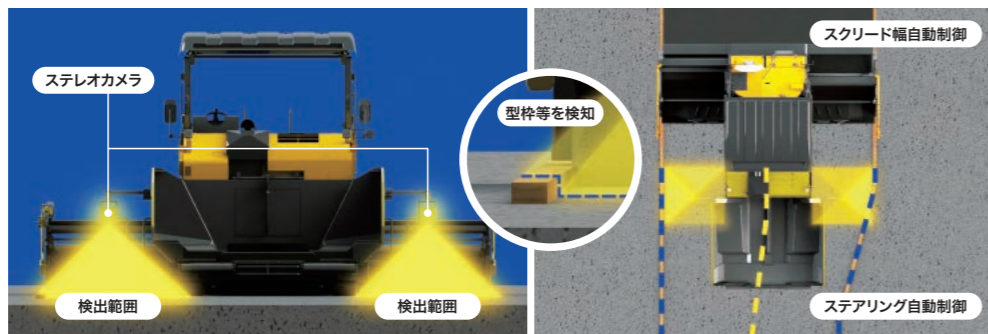
住友建機はその課題と正面から向き合い、様々な現場で“今すぐ取り組める”

自動化システムを開発。未来へ向けた第一歩を応援します。



自動ステアリング・スクリーン伸縮装置の仕組み

機械左右に1個ずつ設置されたステレオカメラが型枠や切削面等の舗装端の段差を検知。ステアリング操作と舗装幅(スクリーン伸縮)の自動制御が可能に。



POINT 1 簡単

高価な3D機器も手間のかかる準備も不要

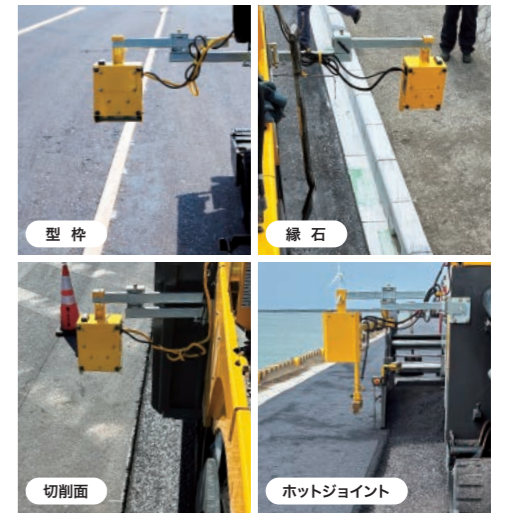
高価な3D機器を必要とせず、3D設計データなどの手間のかかる準備や毎回のキャリブレーションも不要に。機器の取り付けも容易に行うことができ、基本操作はスイッチのON/OFFのみ。手動操作による微調整にも対応し、正確性と利便性を両立しています。さらに、型枠や縁石、切削面やホットジョイントなど舗装端に段差があれば使用できるため、幅広い現場に対応します。



操作盤



ステレオカメラ



POINT 2 安全性向上

安全性が向上するゆとりある作業環境

オペレータがステアリング操作から解放されることで、ダンプの誘導や周囲監視に集中することが可能に。さらに、アジャストマンは伸縮操作から解放されることで周りの作業員に意識が向き、舗装現場全体の安全性向上につながります。



ダンプ誘導

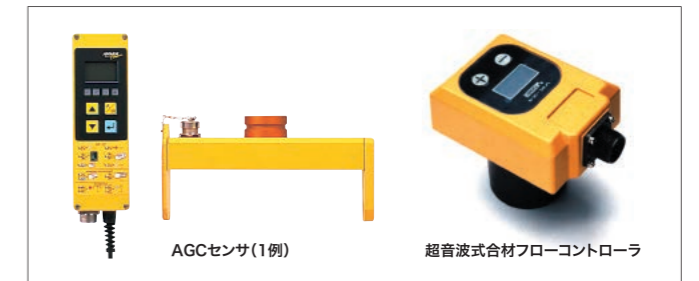


周囲作業員への指示

POINT 3 省力化

既存自動装置の併用で更なる省力化に

自動ステアリング・スクリーン伸縮装置を既存のグレードセンサや超音波式合材フローコントローラと併用することで、基本の舗装作業のほとんどを自動化。ワンマンでの作業も容易になるほか、舗装工事における省力化・省人化に貢献します。



AGCセンサ(1例)

超音波式合材フローコントローラ

POINT 4 品質改善

労力低減により舗装品質向上にも寄与

オペレータがステアリング操作から解放される効果は、合材搬送量のバラつき低減にも貢献。同じく、伸縮操作から解放されるアジャストマンは舗装厚の管理や見栄えや平坦性の確認に集中できるため、舗装品質の向上が期待できます。



フローコントローラ調整



グレードセンサ調整

POINT 5 人材育成

舗装工事の現場が若手育成の教場に

自動化によりオペレータの負担が減ることで、アスファルトフィニッシャーに若手の作業員と同乗し、その場で指導することが可能。座学では得られない現場での生きた知識と技術の習得を促し、未来を担う人材の育成を支援します。

